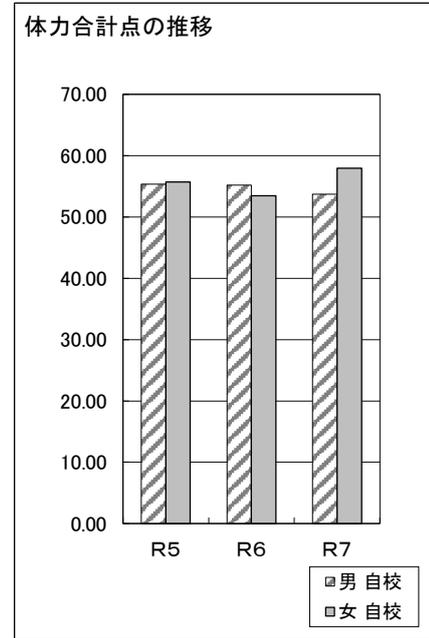
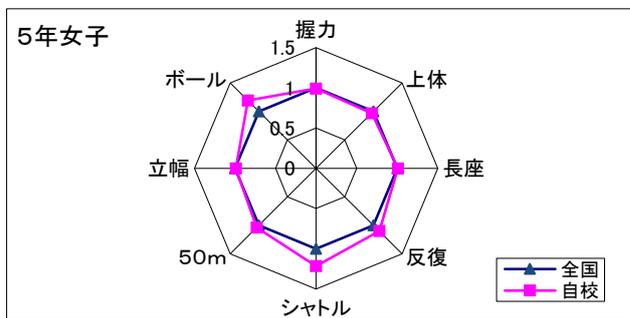
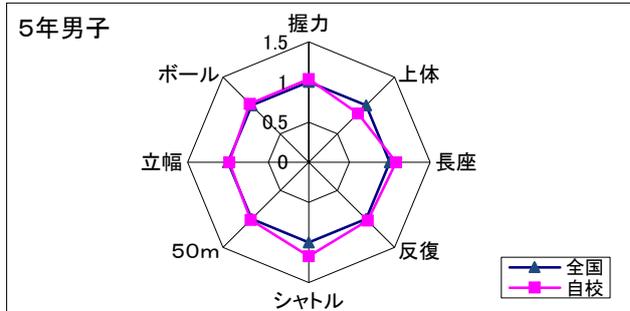


学校名	小17 荘山田小学校
-----	------------

1 自校の実技結果と全国平均との比較

学年	性別		R7平均値							体力合計点			
			握力 (kg)	上体 (回)	長座 (cm)	反復 (点)	シャトル (回)	50m (秒)	立幅 (cm)	ボール (m)	R5	R6	R7
5年	男	全国	15.97	19.45	33.88	40.90	47.95	9.46	150.96	21.06	52.60	52.54	53.03
		自校	16.55	16.72	36.55	42.00	56.17	9.30	148.61	21.72	55.34	55.18	53.70
		比較	○	△	○	○	○	○	△	○	○	○	○
	女	全国	15.61	18.36	38.17	38.71	36.87	9.77	142.39	13.10	54.29	53.93	53.98
		自校	15.50	17.79	38.47	42.63	44.79	9.40	140.97	15.62	55.69	53.44	57.96
		比較	△	△	○	○	○	○	△	○	○	△	○

※全国平均以上の種目…○ 全国平均未満の種目…△



2 重点種目の結果についての分析

呉市の重点種目	中学校区の重点種目 ※義務教育学校は、自校の重点種目	自校の重点種目 ※義務教育学校は、前期課程の重点種目
50m走	ソフトボール投げ	反復横とび
<p>〈成果と課題〉</p> <ul style="list-style-type: none"> 男女共に全国平均値を上回ることができた。 50m走路を常設したり、運動会のリレー競技の練習や陸上教室への参加を推奨したりしたことで、走る運動へ取り組む環境を整えたり、走る運動への意欲付けができたことが効果的だったと考えられる。 	<p>〈成果と課題〉</p> <ul style="list-style-type: none"> 男女共に全国平均値を上回ることができた。 中学校の生徒に小学校の陸上教室へ参加してもらったり、ドッジボール等のボール遊びを休憩時間に推奨したりしたことで、楽しみながら取り組む環境を整えたことが効果的だったと考えられる。 	<p>〈成果と課題〉</p> <ul style="list-style-type: none"> 男女共に全国平均値を上回ることができた。 運動委員会主催の運動遊びを企画したり、陸上教室に中学校の生徒に参加してもらい、一緒に練習したりしたことで、いろいろな運動を異学年と交流しながらできる環境を整えたことが効果的だったと考えられる。

3 児童質問紙調査の結果及び分析

運動やスポーツをすることが好きな児童の割合		朝食を毎日食べる児童の割合		1週間の総運動時間が60分以上の児童の割合				
男子	全国	93.5	男子	全国	82.5	男子	全国	90.1
	自校	93.1		自校	82.1		自校	93.1
女子	全国	85.8	女子	全国	80.4	女子	全国	82.8
	自校	86.6		自校	93.1		自校	93.3
<p>〈成果と課題〉</p> <ul style="list-style-type: none"> 女子は、全国平均を上回ったが、男子は全国平均を下回った。 年間を通して、運動会や陸上教室など、様々な行事等を通して運動への取組を定期的に取り組んだことが、効果的だったと考えられるが、学年や男女により効果に差があると考えられる。 			<p>〈成果と課題〉</p> <ul style="list-style-type: none"> 女子は、朝食を毎日食べる児童の割合が全国平均を上回ったが、男子は全国平均を下回った。 自校で行う生活リズムの調査において、睡眠時間だけでなく朝食に関する項目も毎学期取り入れていることで、朝食への啓発が定期的に行えているが、学年や男女により効果に差があると考えられる。 			<p>〈成果と課題〉</p> <ul style="list-style-type: none"> 男女共に、全国平均を上回った。 運動系の習い事や地域のスポーツクラブに所属している児童が男女とも70%以上おり、日頃から運動する習慣が身に付いている児童が多いことで、一緒になって運動遊びをする児童が多くなっていると考えられる。 		